(19)日本国特許庁(JP)

再公表特許(A1)

(11)国際公開番号
WO2019/004426

発行日　令和2年4月30日(2020.4.30)

(43)国際公開日　平成31年1月3日(2019.1.3)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A41B 9/02	***(2006.01)***	A41B	9/02	H	3B128
A41B 9/12	***(2006.01)***	A41B	9/02	G	
		A41B	9/12	E	

審査請求 未請求　予備審査請求 未請求　（全 15 頁）

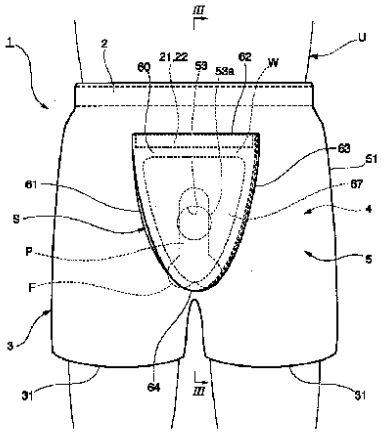
出願番号　特願2019-527056 (P2019-527056)
(21)国際出願番号　PCT/JP2018/024795
(22)国際出願日　平成30年6月29日 (2018.6.29)
(31)優先権主張番号　特願2017-129435 (P2017-129435)
(32)優先日　平成29年6月30日 (2017.6.30)
(33)優先権主張国・地域又は機関
日本国(JP)
(31)優先権主張番号　特願2018-119283 (P2018-119283)
(32)優先日　平成30年6月22日 (2018.6.22)
(33)優先権主張国・地域又は機関
日本国(JP)

(71)出願人　399086263
学校法人帝京大学
東京都板橋区加賀２丁目１１番１号
(74)代理人　100106909
弁理士　棚井　澄雄
(74)代理人　100188558
弁理士　飯田　雅人
(74)代理人　100165179
弁理士　田▲崎▼　聡
(74)代理人　100206999
弁理士　萩原　綾夏
(72)発明者　木村　将貴
東京都板橋区加賀２丁目１１番１号　学校法人帝京大学内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】衣類

(57)【要約】
ユーザー（U）の腰部に配置されるウエスト部（２）と、ウエスト部（２）よりも下方に位置し、ユーザー（U）の前方を覆う前身頃（５）と、を備え、前身頃（５）は、ユーザー（U）の下腹部を覆う前身頃本体部（５１）と、前身頃本体部（５１）に設けられ、ユーザー（U）の陰茎（P）が挿通可能なように形成された挿通孔（５３）と、前身頃本体部（５１）に対して装着および剥離可能に設けられ、装着状態において挿通孔（５３）および挿通孔（５３）の周辺の所定領域（W）を覆い、剥離状態において挿通孔（５３）から挿通された陰茎（P）を露出可能なフラップ部材（６０）と、を有し、フラップ部材（６０）には、装着状態において挿通孔（５３）から挿通された陰茎（P）の亀頭（K）に当接可能に設けられ、水分を吸水保持可能な吸水部（６７）が設けられている。



【特許請求の範囲】
【請求項１】
環状に形成され、生体の腰部に配置されるウエスト部と、
前記ウエスト部よりも下方に位置し、前記生体の前方を覆う前身頃と、
を備え、
前記前身頃は、
前記生体の下腹部を覆う前身頃本体部と、
前記前身頃本体部に設けられ、前記生体の陰茎が挿通可能なように形成された挿通孔と、
前記前身頃本体部に対して装着および剥離可能に設けられ、装着状態において前記挿通孔および前記挿通孔の周辺の所定領域を覆い、剥離状態において前記挿通孔から挿通された前記陰茎を露出可能なフラップ部材と、
を有し、
前記フラップ部材には、前記装着状態において前記挿通孔から挿通された前記陰茎の亀頭に当接可能に設けられ、水分を吸水保持可能な吸水部が設けられていることを特徴とする衣類。
【請求項２】
前記装着状態において、前記フラップ部材と前記前身頃本体部との間には、前記陰茎を露出可能なスリットが設けられていることを特徴とする請求項１に記載の衣類。
【請求項３】
前記挿通孔の直径は、前記陰茎の直径に対応して設定され、
前記挿通孔の縁部は、伸縮不能に形成されていることを特徴とする請求項１または２に記載の衣類。
【請求項４】
前記フラップ部材は、少なくとも左右方向の一方側の部分が前記前身頃本体部に対して接合されるとともに、上部が前記前身頃本体部に対して係脱可能に設けられ、
前記吸水部は、前記フラップ部材に対して着脱可能に設けられていることを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の衣類。
【請求項５】
前記前身頃本体部のうち、前記所定領域に対応する部位は、防水素材により形成されていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の衣類。
【請求項６】
前記フラップ部材は、防水素材により形成されていることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の衣類。
【請求項７】
前記所定領域は、前記生体の鼠蹊部と前記生体のウエストラインとにより囲まれた領域に対応した領域であることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の衣類。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、衣類に関する。
本願は、２０１７年６月３０日に出願された特願２０１７－１２９４３５号および２０１８年６月２２日に出願された特願２０１８－１１９２８３号に基づき優先権を主張し、その内容をここに援用する。
【背景技術】
【０００２】
加齢による筋力の低下や前立腺肥大等によって排尿時の尿切れが悪くなり、尿道に溜まった尿がパンツの中で漏れる「尿漏れ」が発生することが知られている。漏れた尿は、ズボンに滲みだす場合もあり、その対策が望まれている。
例えば脊髄の損傷や前立腺の摘出等により、自らの意思に反して排尿されるいわゆる排

尿障害を抱える疾病者についても、尿漏れの対策が望まれている。
【０００３】
例えば特許文献１には、外装体と内装体の二重構造とし、内装体は前身頃と後身頃の間の股間部に少なくとも肌に接する内表面を通気性，通水生を有するメッシュ生地で構成し尿を吸収することができる保水部を形成するとともに、該保水部の外側に吸水材を出し入れすることができる間隔を保持させて防水シート材による防水皿を装着し、全体の外表面を外装体で覆ったことを特徴とする失禁パンツ（衣類）が提案されている。
【０００４】
ところで、上述のような失禁パンツは、尿漏れによるズボンへの尿の滲みを防止することはもちろんだが、ユーザーの鼠蹊部と失禁パンツとの間からの尿の漏れ（以下、「脇漏れ」という）や、尿を吸収した後における衛生面の向上等が望まれている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００５】
【特許文献１】特開２００１－２５４８３号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
本発明の態様は、尿漏れによる尿の滲みや脇漏れを防止できるとともに、衛生面に優れた衣類を提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
本発明の第１の態様は、衣類は、環状に形成され、生体の腰部に配置されるウエスト部と、前記ウエスト部よりも下方に位置し、前記生体の前方を覆う前身頃と、を備え、前記前身頃は、前記生体の下腹部を覆う前身頃本体部と、前記前身頃本体部に設けられ、前記生体の陰茎が挿通可能なように形成された挿通孔と、前記前身頃本体部に対して装着および剥離可能に設けられ、装着状態において前記挿通孔および前記挿通孔の周辺の所定領域を覆い、剥離状態において前記挿通孔から挿通された前記陰茎を露出可能なフラップ部材と、を有し、前記フラップ部材には、前記装着状態において前記挿通孔から挿通された前記陰茎の亀頭に当接可能に設けられ、水分を吸水保持可能な吸水部が設けられていることを特徴としている。
【０００８】
本発明の第２の態様は、前記装着状態において、前記フラップ部材と前記前身頃本体部との間には、前記陰茎を露出可能なスリットが設けられていることを特徴としている。
【０００９】
本発明の第３の態様は、前記挿通孔の直径は、前記陰茎の直径に対応して設定され、前記挿通孔の縁部は、伸縮不能に形成されていることを特徴としている。
【００１０】
本発明の第４の態様は、前記フラップ部材は、少なくとも左右方向の一方側の部分が前記前身頃本体部に対して接合されるとともに、上部が前記前身頃本体部に対して係脱可能に設けられ、前記吸水部は、前記フラップ部材に対して着脱可能に設けられていることを特徴としている。
【００１１】
本発明の第５の態様は、前記前身頃本体部のうち、前記所定領域に対応する部位は、防水素材により形成されていることを特徴としている。
【００１２】
本発明の第６の態様は、前記フラップ部材は、防水素材により形成されていることを特徴としている。
【００１３】
本発明の第７の態様は、前記所定領域は、前記生体の鼠蹊部と前記生体のウエストライ

ンとにより囲まれた領域に対応した領域であることを特徴としている。
【発明の効果】
【００１４】
本発明の第１の態様によれば、前身頃は、生体の下腹部を覆う前身頃本体部に設けられ、生体の陰茎が挿通可能なように形成された挿通孔と、装着状態において挿通孔および挿通孔の周辺の所定領域を覆うフラップ部材と、を有し、フラップ部材には、装着状態において挿通孔から挿通された陰茎の亀頭に当接可能に設けられ、水分を吸水保持可能な吸水部が設けられているので、尿漏れが発生した場合であっても、吸水部で漏れた尿を吸収することができる。したがって、尿漏れによるズボン等への尿の滲みを防止できる。
装着状態において、挿通孔から挿通された陰茎の亀頭は、フラップ部材に設けられた吸水部に当接しているので、脇漏れを防止できる。
前身頃本体部の挿通孔から陰茎が挿通されているので、尿を吸収した吸水部は陰茎以外の下腹部に接触することがない。したがって、吸水部に尿が吸収された後でも、ユーザーの履き心地を害することがなく、従来技術と比較して衛生面に優れた衣類とすることができる。
【００１５】
本発明の第２の態様によれば、装着状態において、フラップ部材と前身頃本体部との間には、陰茎を露出可能なスリットが設けられているので、フラップ部材の装着状態であっても、スリットから陰茎を露出させて排尿することができる。これにより、従来の下着（パンツ）と同様、違和感なく排尿することができるので、ユーザーにとって使い易い衣類とすることができる。外観上も、従来の下着（パンツ）と同様、違和感のないデザインを有する衣類とすることができる。
【００１６】
本発明の第３の態様によれば、挿通孔の直径は、陰茎の直径に対応して設定され、挿通孔の縁部は、伸縮不能に形成されているので、挿通孔から陰茎のみを挿通させることができるとともに、挿通孔から陰嚢が挿通して前身頃本体部の外に露出するのを防止できる。これにより、尿を吸収した吸水部は、陰嚢に接触することがない。したがって、吸水部に尿が吸収された後でも、ユーザーの履き心地を害することがなく、従来技術と比較して衛生面に優れた衣類とすることができる。
【００１７】
本発明の第４の態様によれば、フラップ部材は、少なくとも左右方向の一方側の部分が前身頃本体部に対して接合されるとともに、上部が前身頃本体部に対して係脱可能に設けられているので、フラップ部材の上部を前身頃本体部から離脱させることで容易にフラップ部材を前身頃本体部から剥離させることができる。吸水部は、フラップ部材に対して着脱可能に設けられているので、フラップ部材を前身頃本体部から剥離させた状態で、フラップ部材から使用済みの吸水部を取り外した後、フラップ部材に新たな吸水部を取り付けることで容易に吸水部を交換することができる。したがって、従来技術と比較して、吸水部のみを交換することができるので、衛生面に優れた衣類とすることができる。
吸水部のみを交換することができるので、従来技術と比較して、洗濯の頻度を減らすことができる。したがって、ユーザーにとって使い易い衣類とすることができる。
【００１８】
本発明の第５の態様によれば、前身頃本体部のうち、挿通孔の周辺の所定領域に対応する部位は、防水素材により形成されているので、フラップ部材の装着状態において、吸水部が前身頃本体部に接した場合であっても、前身頃本体部に尿が滲むのを防止できる。これにより、陰茎周辺を含む下腹部には、前身頃本体部から尿が滲み出て付着することがない。したがって、ユーザーの履き心地を害することがなく、従来技術と比較して衛生面に優れた衣類とすることができる。
【００１９】
本発明の第６の態様によれば、フラップ部材は、防水素材により形成されているので、尿漏れが発生した場合であっても、吸水部で漏れた尿を吸収するとともに、フラップ部材

から外部に尿が滲むのを防止できる。したがって、尿漏れによるズボン等への尿の滲みを確実に防止できる。

【００２０】

本発明の第７の態様によれば、所定領域は、生体の鼠蹊部と生体のウエストラインとにより囲まれた領域に対応した領域であるので、この所定領域において、尿の滲みを確実に防止できる。したがって、尿漏れによるズボン等への尿の滲みを防止できるとともに脇漏れを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【００２１】

【図１】本発明の実施形態に係る衣類を前方から見たときの説明図であって、フラップ部材の装着状態を示す説明図である。

【図２】本発明の実施形態に係る衣類を前方から見たときの説明図であって、フラップ部材の剥離状態を示す説明図である。

【図３】図１のＩＩＩ－ＩＩＩ線に沿う断面図である。

【発明を実施するための形態】

【００２２】

以下、本発明の実施形態について図面を参照して説明する。

図１は、本発明の実施形態に係る衣類を前方から見たときの説明図であって、フラップ部材の装着状態を示す説明図である。

図２は、本発明の実施形態に係る衣類を前方から見たときの説明図であって、フラップ部材の剥離状態を示す説明図である。

【００２３】

図１および図２に示すように、本実施形態の衣類１は、いわゆるトランクスタイプの男性用の下着である。さらに、本実施形態の衣類１は、後述のとおり、尿道に溜まった尿が下着の中で漏れる「尿漏れ」への対策が施された尿漏れ防止下着である。以下に説明する衣類１がトランクスタイプである場合は、本発明の実施形態の一例である。したがって、本発明が適用される衣類１は、トランクスタイプに限定されることはなく、例えばいわゆるブリーフタイプであってもよい。

各図において、衣類１の使用者としての成人男性であるユーザーＵを二点鎖線で図示している。以下の説明における前後上下左右方向は、ユーザーＵから見た前後上下左右方向と一致している。

【００２４】

本実施形態の衣類１は、ユーザーＵの下半身に装着されるものであって、例えば全体が主に綿等の天然繊維や、キュプラ、ビスコースレーヨン等の再生セルロース繊維、ポリエステル等の合成繊維等により形成されている。衣類１の編地として、例えばフライス編みやスムース編み、天竺編み等のヨコ編地や、ラッセル編み等のタテ編地が好適に用いられる。上述した衣類１の繊維や編地はあくまで一例であって、特に限定されない。

【００２５】

衣類１は、ウエスト部２と、身頃部３と、を有する。

ウエスト部２は、全体として環状に形成されており、衣類１がユーザーＵの下半身に装着されたときに、ユーザーＵの腰部のウエストラインに沿って配置される。ウエスト部２は、周方向に沿って弾性変形可能なゴム編み生地等の弾性繊維素材により形成されており、伸縮性を有している。

ウエスト部２の直径は、ユーザーＵのウエストサイズよりも若干小さくなるように設定されている。このため、衣類１は、ユーザーＵが下半身に装着した時に、ウエスト部２の収縮力によってユーザーＵの腰部に係止される。

【００２６】

身頃部３は、ウエスト部２よりも下方に位置しており、ユーザーＵの下半身を覆っている。身頃部３には、一対の脚ぐり３１，３１が形成されている。一対の脚ぐり３１，３１は、幅方向における両側に設けられている。一対の脚ぐり３１，３１は、ユーザーＵの脚

が挿通可能な孔となっている。一対の脚ぐり３１，３１には、それぞれユーザーＵの右大腿部と左大腿部とが挿通されて配置される。

【００２７】

身頃部３は、後身頃４と、前身頃５と、を備える。

後身頃４は、身頃部３のうち脇中央部よりも後方に位置している。後身頃４は、ユーザーＵの下半身のうち、主に臀部を覆っている。

【００２８】

前身頃５は、身頃部３のうち脇中央部よりも前方に位置している。前身頃５は、ユーザーＵの下半身のうち、主にユーザーＵの下腹部を覆っている。

前身頃５は、前身頃本体部５１と、挿通孔５３と、フラップ部材６０と、を有している。以下、衣類１の前身頃５について、詳細に説明する。

【００２９】

前身頃本体部５１は、ウエスト部２よりも下方において、ユーザーＵの下腹部を覆っている。

前身頃本体部５１には、挿通孔５３が形成されている。挿通孔５３は、前身頃本体部５１の表裏を貫通しており、ユーザーＵの陰茎Ｐが挿通可能なように形成されている。

挿通孔５３の直径は、ユーザーＵの陰茎Ｐの直径に対応して設定される。より具体的には、挿通孔５３の直径は、例えば日本人の成人男性における陰茎の標準的な直径である約３．２ｃｍよりもわずかに大きくなるように設定されている。挿通孔５３の直径は、例えば衣類１のサイズ（Ｓサイズ、Ｍサイズ、Ｌサイズ等）に対応させて、複数のサイズを備えていてもよい。

【００３０】

ここで、挿通孔５３の縁部５３ａは、伸縮不能に形成されている。挿通孔５３の縁部５３ａは、全周にわたって例えばステッチを施すことで伸縮不能に形成されてもよいし、全周にわたって例えば補強用のパッチを縫合することで伸縮不能に形成されてもよい。挿通孔５３の縁部５３ａは、伸縮不能に形成されているので、挿通孔５３から陰茎Ｐのみを挿通させることができるとともに、挿通孔５３から陰嚢Ｆが挿通して前身頃本体部５１の外に露出するのを防止できる。

【００３１】

前身頃本体部５１のうち、挿通孔５３および挿通孔５３の周辺を所定領域Ｗと定義する。所定領域Ｗは、例えばユーザーＵの鼠蹊部とユーザーＵのウエストラインとにより囲まれた領域に対応した領域である。

所定領域Ｗは、防水性があり、かつ水蒸気を透過させる透湿性を有している素材により形成されていてもよい。具体的には、布面に対して樹脂材料を薄く均一に塗布した後、熱をかけて樹脂材料を乾燥させて被膜を形成した、いわゆる防水用のコーティング加工が施された布材が好適である。

【００３２】

フラップ部材６０は、前身頃本体部５１に対して装着および剥離可能に設けられている。具体的に、フラップ部材６０は、左側部６３と下部６４とが前身頃本体部５１に対して縫合されることで接合されている。

フラップ部材６０の上部６２は、前身頃本体部５１に対して係合可能に形成されている。フラップ部材６０の上部６２と前身頃本体部５１との係合手段は特に限定されないが、本実施形態においては、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とに、それぞれ面ファスナー２１，２２は貼付されており、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とは、面ファスナー２１，２２により係合可能となっている。

【００３３】

図１に示すように、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とを面ファスナー２１，２２により係合することで、フラップ部材６０が装着状態となる。このとき、フラップ部材６０の右側部６１と前身頃本体部５１とは、互いに固定されない。したがって、フラップ部材６０の右側部６１と前身頃本体部５１と間には、スリットＳが形成される。

スリットＳからは、フラップ部材６０が装着状態であっても、ユーザーＵの陰茎Ｐが露出可能となっている。

【００３４】

図２に示すように、面ファスナー２１，２２の係合を解除し、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とを離脱することで、フラップ部材６０が剥離状態となる。フラップ部材６０は、剥離状態において、前身頃本体部５１に対して縫合された左側部６３および下部６４以外の部分、すなわち、フラップ部材６０の右側部６１および上部６２が前身頃本体部５１から離脱している。

【００３５】

図３は、図１のＩＩＩ－ＩＩＩ線に沿う断面図である。

図２および図３に示すように、フラップ部材６０には、吸水部６７が設けられている。吸水部６７は、例えば一般に吸収性ポリマー、高吸水性樹脂、高分子吸収体と呼ばれる高吸水性高分子を不織布により包装することにより形成されたシート状の部材である。吸水部６７は、例えば銀イオンが配合されることで抗菌効果および消臭効果を有していてもよい。本実施形態においては、吸水部６７は、市販のいわゆる吸水パッドと呼ばれる製品が採用される。

【００３６】

吸水部６７は、フラップ部材６０の内面（装着状態において前身頃本体部５１と対向する面）において、面ファスナー２２を除いた領域に設けられている。吸水部６７は、フラップ部材６０の内面に対して、例えば両面テープ等により、着脱可能に貼付されている。

図３に示すように、フラップ部材６０は、装着状態において挿通孔５３から挿通された陰茎Ｐの亀頭Ｋに当接している。これにより、尿道に溜まった尿が漏れる尿漏れが発生した場合であっても、ユーザーＵの陰茎Ｐから漏れた尿は、吸水部６７により確実に吸収される。

【００３７】

（効果）

本実施形態の衣類１によれば、前身頃５は、ユーザーＵの下腹部を覆う前身頃本体部５１に設けられ、ユーザーＵの陰茎Ｐが挿通可能なように形成された挿通孔５３と、装着状態において挿通孔５３および挿通孔５３の周辺の所定領域Ｗを覆うフラップ部材６０と、を有し、フラップ部材６０には、装着状態において挿通孔５３から挿通された陰茎Ｐの亀頭Ｋに当接可能に設けられ、水分を吸水保持可能な吸水部６７が設けられているので、尿漏れが発生した場合であっても、吸水部６７で漏れた尿を吸収することができる。したがって、尿漏れによるズボン等への尿の滲みを防止できる。

装着状態において、挿通孔５３から挿通された陰茎Ｐの亀頭Ｋは、フラップ部材６０に設けられた吸水部６７に当接しているので、脇漏れを防止できる。

前身頃本体部５１の挿通孔５３から陰茎Ｐが挿通されているので、尿を吸収した吸水部６７は陰茎Ｐ以外の下腹部に接触することがない。したがって、吸水部６７に尿が吸収された後でも、ユーザーＵの履き心地を害することがなく、従来技術と比較して衛生面に優れた衣類１とすることができる。

【００３８】

本実施形態の衣類１では、装着状態において、フラップ部材６０と前身頃本体部５１との間には、陰茎Ｐを露出可能なスリットＳが設けられているので、フラップ部材６０の装着状態であっても、スリットＳから陰茎Ｐを露出させて排尿することができる。これにより、従来の下着（パンツ）と同様、違和感なく排尿することができるので、ユーザーＵにとって使い易い衣類とすることができる。外観上も、従来の下着（パンツ）と同様、違和感のないデザインを有する衣類１とすることができる。

【００３９】

本実施形態の衣類１では、挿通孔５３の直径は、陰茎Ｐの直径に対応して設定され、挿通孔５３の縁部５３ａは、伸縮不能に形成されているので、挿通孔５３から陰茎Ｐのみを挿通させることができるとともに、挿通孔５３から陰嚢Ｆが挿通して前身頃本体部５１の

外に露出するのを防止できる。これにより、尿を吸収した吸水部６７は、陰嚢Ｆに接触することがない。したがって、吸水部６７に尿が吸収された後でも、ユーザーＵの履き心地を害することがなく、従来技術と比較して衛生面に優れた衣類１とすることができる。

【００４０】

本実施形態の衣類１では、フラップ部材６０は、左側部６３および下部６４が前身頃本体部５１に対して接合されるとともに、上部６２が前身頃本体部５１に対して係脱可能に設けられているので、フラップ部材６０の上部６２を前身頃本体部５１から離脱させることで容易にフラップ部材６０を前身頃本体部５１から剥離させることができる。吸水部６７は、フラップ部材６０に対して着脱可能に設けられているので、フラップ部材６０を前身頃本体部５１から剥離させた状態で、フラップ部材６０から使用済みの吸水部６７を取り外した後、フラップ部材６０に新たな吸水部６７を取り付けることで容易に吸水部６７を交換することができる。したがって、従来技術と比較して、吸水部６７のみを交換することができるので、衛生面に優れた衣類１とすることができる。

吸水部６７のみを交換することができるので、従来技術と比較して、洗濯の頻度を減らすことができる。したがって、ユーザーＵにとって使い易い衣類１とすることができる。

【００４１】

本実施形態の衣類１では、前身頃本体部５１のうち、挿通孔５３の周辺の所定領域Ｗに対応する部位は、防水素材により形成されているので、フラップ部材６０の装着状態において、吸水部６７が前身頃本体部５１に接した場合であっても、前身頃本体部５１に尿が滲むのを防止できる。これにより、陰茎Ｐ周辺を含む下腹部には、前身頃本体部５１から尿が滲み出て付着することがない。したがって、ユーザーＵの履き心地を害することがなく、従来技術と比較して衛生面に優れた衣類１とすることができる。

【００４２】

本実施形態の衣類１では、フラップ部材６０は、防水素材により形成されているので、尿漏れが発生した場合であっても、吸水部６７で漏れた尿を吸収するとともに、フラップ部材６０から外部に尿が滲むのを防止できる。したがって、尿漏れによるズボン等への尿の滲みを確実に防止できる。

【００４３】

本実施形態の衣類１では、所定領域Ｗは、ユーザーＵの鼠蹊部とユーザーＵのウエストラインとにより囲まれた領域に対応した領域であるので、この所定領域Ｗにおいて、尿の滲みを確実に防止できる。したがって、尿漏れによるズボン等への尿の滲みを防止できるとともに脇漏れを防止できる。

【００４４】

本発明は、図面を参照して説明した上述の実施形態に限定されるものではなく、その技術的範囲において様々な変形例が考えられる。

【００４５】

上述の実施形態では、本発明にかかる衣類１として、いわゆるトランクスタイプの男性用の下着を例に説明をしたが、本発明の適用はトランクスタイプの男性用の下着に限定されない。したがって、本発明にかかる衣類１としては、例えばいわゆるブリーフタイプの男性用の下着や、いわゆるボクサータイプの男性用の下着等であってもよい。

【００４６】

上述の実施形態では、衣類１のユーザーＵとして成人男性を例に説明をしたが、衣類１のユーザーＵは成人男性に限定されない。したがって、ユーザーＵは、例えば排尿障害を有する男性児童であってもよい。

上述の実施形態では、衣類１のユーザーＵとして成人男性を例に説明をしたが、ユーザーＵは、人間の男性に限定されることはなく、陰茎を有する生体に対して広く適用できる。したがって、衣類１のユーザーＵは、例えば陰茎を有する犬や馬等の雄の動物であってもよい。すなわち本実施形態の衣類１は、人間の男性に対しての適用に限定されることはなく、雄の動物に対して適用されてもよい。

【００４７】

上述の実施形態の衣類１について、素材の構成は一例であって、上述の実施形態に限定されない。したがって、衣類１の素材は、綿等の天然繊維や、キュプラ、ビスコースレーヨン等の再生セルロース繊維、ポリエステル等の合成繊維以外の素材、例えばシルクやポリウレタン等の繊維であってもよい。

【００４８】

上述の実施形態では、フラップ部材６０および前身頃本体部５１の所定領域Ｗに対応する部位は、防水素材により形成されていたが、防水素材でなくてもよい。フラップ部材６０および前身頃本体部５１の所定領域Ｗに対応する部位は、防水素材に替えて、撥水部材により形成されていてもよい。

【００４９】

上述の実施形態では、フラップ部材６０は、左側部６３および下部６４が前身頃本体部５１に対して接合されるとともに、上部６２が前身頃本体部５１に対して係脱可能に設けられていたが、この形態に限定されない。したがって、例えばフラップ部材６０は、下部６４のみが前身頃本体部５１に対して接合されるとともに、上部６２が前身頃本体部５１に対して係脱可能に設けられていてもよいし、上部６２のみが前身頃本体部５１に対して接合されるとともに、下部６４が前身頃本体部５１に対して係脱可能に設けられていてもよい。

【００５０】

さらに、フラップ部材６０は、全周が前身頃本体部５１に対して係脱可能に設けられていてもよい。この場合においては、フラップ部材６０と前身頃本体部５１とを離脱させることができるので、例えばフラップ部材６０のみを洗濯する場合に好適である。

【００５１】

上述の実施形態では、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とに、それぞれ面ファスナー２１，２２は貼付されており、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とは、面ファスナー２１，２２により係合可能となっていたが、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とを係合する部材は面ファスナー２１，２２に限定されない。したがって、前身頃本体部５１とフラップ部材６０の上部６２とは、例えばボタンで係合されていてもよいし、例えば紐等により結束されることによって係合されていてもよいし、いわゆるスナップ等によって係合されていてもよい。すなわち、前身頃本体部５１とフラップ部材６０とが着脱可能に係合されていればその形態は限定されない。

【００５２】

上述の実施形態では、吸水部６７は、フラップ部材６０の内面に対して、例えば両面テープ等により、着脱可能に貼付されていたが、この形態に限定されない。したがって、例えば吸水部６７は、フラップ部材６０の内面に対して、面ファスナーにより着脱可能に貼付されていてもよい。

【００５３】

その他、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で、上記した実施の形態における構成要素を周知の構成要素に置き換えることは適宜可能である。

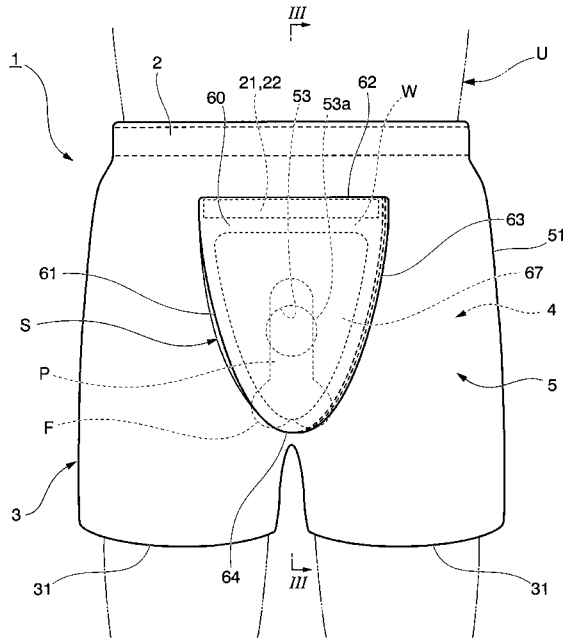
【符号の説明】

【００５４】

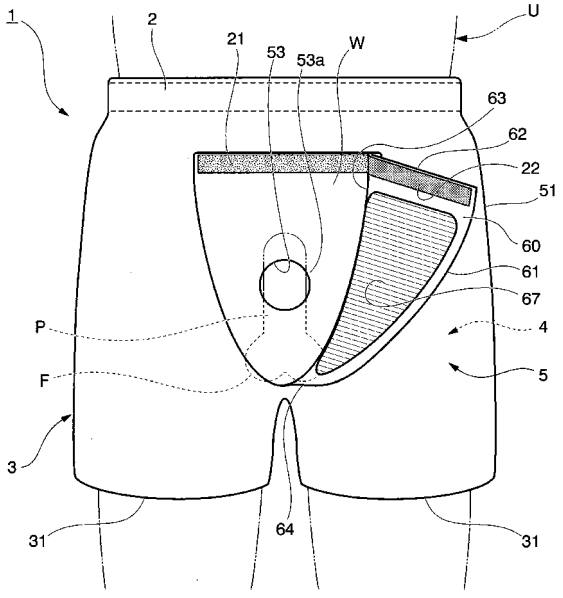
１　衣類
２　ウエスト部
５　前身頃
５１　前身頃本体部
５３　挿通孔
５３ａ　縁部
６０　フラップ部材
６２　上部
６３　左側部（左右方向の一方側の部分）
６７　吸水部

K　亀頭
P　陰茎
S　スリット
U　ユーザー（生体）
W　所定領域

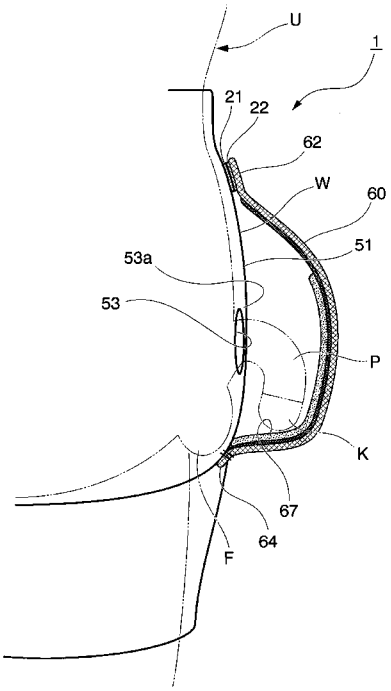
【図１】



【図２】



【図３】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2018/024795

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl. A41B9/02(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl. A41B9/00-9/16, A61F13/15-13/84, A61L15/16-15/64

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2018
Registered utility model specifications of Japan	1996-2018
Published registered utility model applications of Japan	1994-2018

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y A	JP 2013-209755 A (TOWA KOGYO KK) 10 October 2013, paragraphs [0015], [0017], [0019], [0020]-[0022], [0025]-[0026], fig. 3-6, 11 & WO 2012/086307 A1	1-2, 4 5-7 3
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 90166/1988 (Laid-open No. 10825/1990) (HIMENO, Ikuo) 24 January 1990, specification, page 1, line 23 to page 2, line 3, fig. 1, 2 (Family: none)	5-7
A	JP 2010-265555 A (MITSUHASHI, Masaaki) 25 November 2010 (Family: none)	1-7
A	JP 2013-44061 A (GSI CREOS CORPORATION) 04 March 2013 (Family: none)	1-7
A	JP 2007-167596 A (MORITA, Sadao) 05 July 2007 (Family: none)	1-7

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
13 July 2018 (13.07.2018)	24 July 2018 (24.07.2018)

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2015)

国際調査報告	国際出願番号 PCT／JP2018／024795

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A41B9/02(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A41B9/00-9/16, A61F13/15-13/84, A61L15/16-15/64

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922－1996年
日本国公開実用新案公報	1971－2018年
日本国実用新案登録公報	1996－2018年
日本国登録実用新案公報	1994－2018年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
X Y A	JP 2013-209755 A (株式会社東和工業) 2013.10.10, 段落[0015], [0017], [0019], [0020]-[0022], [0025]-[0026], 図 3-6, 図 11 & WO 2012/086307 A1	1-2, 4 5-7 3
Y	日本国実用新案登録出願 63-90166 号(日本国実用新案登録出願公開 2-10825 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（姫野 征夫) 1990.01.24, 明細書第 1 ページ第 23 行-第 2 ページ第 3 行, 第一図, 第二図（ファミリーなし）	5-7

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。　☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊ 引用文献のカテゴリー
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
13. 07. 2018	24. 07. 2018

国際調査機関の名称及びあて先	特許庁審査官（権限のある職員）	3B	1183
日本国特許庁（ISA／JP） 郵便番号100－8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	▲高▼橋 杏子 電話番号 03－3581－1101 内線 3320		

国際調査報告	国際出願番号 ＰＣＴ／ＪＰ２０１８／０２４７９５

C（続き）． 関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求項の番号
A	JP 2010-265555 A（三橋 正明）2010.11.25,（ファミリーなし）	1-7
A	JP 2013-44061 A（株式会社ＧＳＩクレオス）2013.03.04,（ファミリーなし）	1-7
A	JP 2007-167596 A（森田 節雄）2007.07.05,（ファミリーなし）	1-7

フロントページの続き

(81)指定国・地域 AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT

Ｆターム(参考) 3B128 EA01 EB09 EB13 EB16 EB31 EC04 EC08 EC09 EC14 KA02
SB02 SB04

（注）この公表は、国際事務局（ＷＩＰＯ）により国際公開された公報を基に作成したものである。なおこの公表に係る日本語特許出願（日本語実用新案登録出願）の国際公開の効果は、特許法第１８４条の１０第１項(実用新案法第４８条の１３第２項）により生ずるものであり、本掲載とは関係ありません。